

|            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| <b>教材名</b> | 「なにができるかな？」<br>～バックル、スナップ、ボタンの着脱～ |
|------------|-----------------------------------|

作成者  
須山 真理子



|            |         |
|------------|---------|
| <b>学年</b>  | 幼稚部うさぎ組 |
| <b>授業名</b> | 個別の課題学習 |

## 幼児の実態

バックルが外せないため、リュックサックを下ろせなくて自分から朝の支度に取り掛かれなかったり、ズボンのスナップやボタン掛けがうまくできなくて、着替えに時間が掛かったりする。

## ねらい

- ・バックル、ボタン、スナップの着脱の仕方を練習する。
- ・朝や帰りの着替え・荷物整理、給食の準備が一人でできる。

## 教材の使い方

1. 3色のリュックサックの中から、好きな色を1つ選ぶ。
2. バックルをはずす。
3. 入っている教材を取り出す。
4. ボタンやスナップをつなぐ。

## 工夫したこと

- ・取り組む順番を自分で選べるように、色と大きさを変えた3種類のリュックサックを作った。
- ・「なにができるかな？」と期待したり、教師と色や大きさについてやりとりしたりしながら課題に取り組めるようにした。

## 幼児の様子

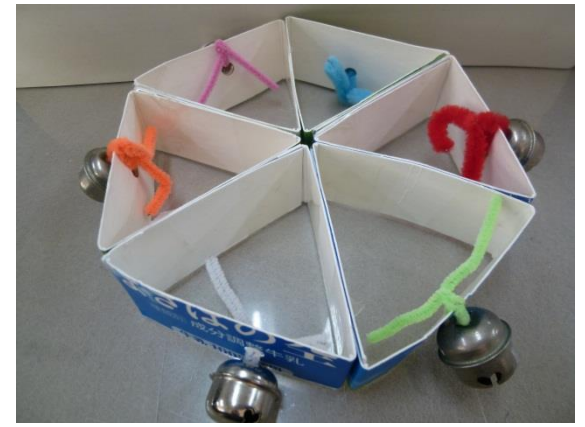
- ・リュックサックの中の課題を期待したり、実際に背負ってごっこ遊びをしたりして、楽しみながら取り組んだ。
- ・繰り返し取り組むうちに、やり方が分かってスムーズに着脱できるようになった。
- ・朝や帰りの着替え・荷物整理、給食の準備に自分から取り組み、一人でできるようになった。



**教材名** 作って 鳴らそう！！  
～手作り タンバリン～

作成者  
加藤 美和子

**学年** 幼稚部うさぎ組  
**授業名** 音楽遊び



## 幼児の実態

- 年長児6名の学級である。楽器への興味が出てきている。自分から触れて音を鳴らそうとする様子が見られるようになってきた。
- 制作活動を好み、一人で作ったり、教師と一緒に作ったりすることができる。

## ねらい

- 身近にある素材，加工が簡単な素材を使い，自分だけの楽器を作る。
- 自分で作った楽器を鳴らして遊ぶ。

## 教材の使い方

1. 制作する。
  - 「自分だけの楽器」を作ることを伝え，制作する。
2. 音を鳴らして遊ぶ。
  - 作った楽器を，音楽遊びやクリスマス会などで鳴らして遊ぶ。

## 工夫したこと

- 身近にあり加工が簡単な素材（牛乳パックやモール）を使った。
- 幼児でも使いやすく，接着しやすい両面テープを使った。
- 制作した楽器を使って遊べるようにした。

## 幼児の様子

- 鈴をモールに通すことが少し難しかったが，興味をもって制作活動に取り組んだ。
- 自分だけのタンバリンが出来上がるとうれしそうに振って鳴らしたり，他のクラスの友達や教師に見せに行ったりしていた。
- 学部のクリスマス会の際にも持って行き，クリスマスの曲に合わせて鳴らした。



教材名 みんな大好き  
ダンボールすべり台

作成者  
富谷 俊輔

学年 幼稚部うさぎ組  
授業名 素材遊び



## 幼児の実態

- ダンボールで大きな物を作って遊ぶ経験はしていない。
- すべり台で遊んだり，高いところに上ったりすることが好きな幼児が多い。

## ねらい

幼児が好きな，すべり台を段ボールで作ることで，段ボールに対して興味をもったり，ダンボールで何かを作ってみたいという意欲につなげたりしたい。

## 教材の使い方

1. すべって遊ぶ。
2. ボールや車のおもちゃなどをすべらせて遊ぶ。

## 工夫したこと

- 幼児がすべり台の上で飛び跳ねたり，教師と一緒に滑ったりしても壊れないよう，強度をもたせた。
- すべり台に興味をもってもらえるよう，幼稚部にあるすべり台よりも，高さを高くしたり，勾配を急にしたりした。

## 幼児の様子

- 多くの幼児が興味をもち，すべり台をすべったり，ボールを上から転がしたりして遊ぶ姿が見られた。
- 段ボール遊びの中で作った段ボールハウスやトンネルとすべり台を合体させようと，工夫して遊ぶ姿が見られた。



教材名 ストローポットン  
～落として遊ぼう～

作成者

塚田 直也

学年 幼稚部ひよこ組

授業名 遊び活動



## 幼児の実態

- ・積み木やボールなどの小さな物を指先でつまむことができる。
- ・プットイン課題や穴の中に積み木等の物を入れることが好きで、何度も取り組む姿が見られる。

## ねらい

- ・複数のストローの中から、一本を選び、指先でつまむことができる。
- ・ストローを穴に落として遊ぶ。

## 教材の使い方

1. 幼児が自ら教材を使って遊べるように、自由遊びのエリアに設置しておく。
2. ストローが入った容器からストローを取り、隣の穴の中に入れて遊ぶ。

## 工夫したこと

- ・幼児が自立的に遊べるように、ストローが入った容器とストローを入れる場所を、一つの箱内に設定するようにした。
- ・幼児が指先の動きを微調整できるように、長さの違うストローを複数用意した。

## 幼児の様子

- ・自ら教材を取り出し、ストローを穴の中に入れて遊ぶ姿が見られた。
- ・容器の中にストローがなくなると、予備のストローを入れた場所から再び取り出し、遊びを続ける姿も見られるようになってきた。



教材名 うんとこしょ！  
じびきあみ！（大型絵本）

作成者

野本 有紀

学年 幼稚部ひよこ組

授業名 朝の会



## 幼児の実態

- ・『もこもこ』や『きんぎょがにげた』などの絵本を繰り返し読むことを楽しむ様子が見られる。
- ・興味をもった物に対して注目したり，手を伸ばしたりするようになってきた。

## ねらい

- ・絵本に注目し，地引き網のストーリーを楽しむ。
- ・網を引くと網に掛かった魚が出てくることに驚いたり，興味をもったりする。

## 教材の使い方

1. 場面を読む
  - ・絵本の穴から顔を出し，教師が表情をつけながら「海に来たが魚が捕れない」ことを伝える。
2. 活動する
  - ・幼児が網を引き，魚を引っ張り出す。

## 工夫したこと

- ・幼児の写真を使い，絵本に登場させる。教師は表情を大きく変え，子どもの注意を引くようにする。
- ・全員で網を引けるように「うんとこしょ！どっこいしょ！」とリズムを合わせるようにした。

## 幼児の様子

- ・海の中の魚に気付き，取ろうと近づいたり，自分の姿を見付けて指さしをしたりするなど，絵本に興味をもって見ている。
- ・繰り返し行うことで，網に入った魚が出てくるのが分かり，期待感をもって網をひく様子が見られた。



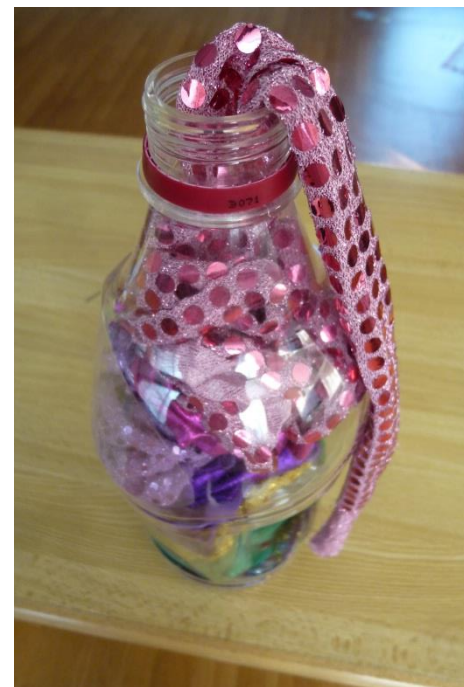
**教材名** 引っぱったら, どんどん出てきて楽しいよ!

作成者

杉山 庸子

**学年** 幼稚部ひよこ組

**授業名** 遊び活動



## 幼児の実態

- いろいろな物を穴に入れることが好きである。
- いろいろな物を触ることが, 苦手な一面がある。

## ねらい

指先を使ったり, 握ったりして, 引っ張って布を入れたり出したりして楽しむ。

## 教材の使い方

1. 入れ物から, 布を引っ張る。
2. 出した布を入れ物に入れる。

## 工夫したこと

- 幼児の目を引くようにきらきら光る布地を選んだ。
- 触り心地がよい, やわらかい布地を選んだ。

## 幼児の様子

- 紐をどんどん引っ張り, 次から次へと出てくる紐を見て, 集中して取り組んでいた。
- 出した布を友達同士で引っ張り合い, 綱引きをする様子が見られた。



**教材名** だれかな？だれかな？

作成者  
飯島 杏那

**学年** 幼稚部りす組  
**授業名** 朝の会



## 幼児の実態

- 絵本の読み聞かせや、歌を歌ったり、聴いたりすることが好きである。
- 朝の会の流れを理解して、落ち着いて参加するようになった。一方で、毎日繰り返し行われる名前呼びに対して、期待感をもって参加する姿が見られなくなってきた。

## ねらい

名前呼びを通して、自分が呼ばれたことに気付いたり、呼ばれた教師や友達に注目したりする。

## 教材の使い方

1. 顔写真カードを提示する。
  - 「誰かな誰かな？」と言葉掛けをするとともに、顔写真カードの色紙の側面を幼児に提示する。
2. 返事をする。
  - 名前が呼ばれた幼児は、顔写真カードを受け取り、クリスマスツリーに貼る。

## 工夫したこと

- 幼児たちが好きな絵本や歌などに登場する、サンタクロースやプレゼントなどを題材にした。
- 顔写真カードの裏をプレゼントに見立て、一人ひとり異なる色紙を貼り付けた。繰り返し使用するうちに、自分のカードが何色か分かったり、名前を呼ばれる前から、誰が呼ばれるのか想像したりすることができるようにした。

## 幼児の様子

- 教師や友達と一緒に、『ジングルベル』の歌を歌ったり、身体を揺らしたりしてリズムをとるようになった。
- 色紙の側面を見て、誰が呼ばれるのか予測して、友達の顔をのぞきこんだり、注目したりするようになった。



教材名 いっしゅうかんでんしゃ

作成者 古屋 郁子

学年 幼稚部りす組  
授業名 個別の課題学習



## 幼児の実態

- 線路をつなげて電車を走らせたり、トンネルや駅を作ったりして遊ぶ。
- 数唱は10までできるが、一対一対応は難しい。
- 「先週」「来週」「あさって」などの理解が曖昧である。

## ねらい

日にちカードや「きょう」カードを並べたり、日にちと対応させたりする活動を通して、一週間、今週、来週などを理解する。

## 教材の使い方

1. 今週の日にちカードを教師と一緒に数字を読みながら貼る。
2. 「きょう」電車を今日の日にちの場所に貼っていく。その後、「きのう」「あした」「あさって」電車を貼っていく。
3. 「きのう」活動したことや「あした」行う行事などを確認する。

## 工夫したこと

- 「きょう」を本児の好きな電車の形にして、日にちと対応させながら連結する活動をすることで、つながりを理解することができた。
- 「こんしゅう」「らいしゅう」のカレンダーを並べて本児と行事のことを話すことで、一週間の流れをイメージすることができた。

## 幼児の様子

- 曜日に合わせながら日にちカードを一つずつ貼り、教師と確認することができた。
- 「きょう」を基準に「きのう」「あした」「あさって」を貼ったり、「こんしゅう」「らいしゅう」のカレンダーを並べて行事の話をしたりすることができた。





